一人一人が備えてこ！ 防災力UP！鳥羽

vol.15

総務課防災危機管理室 ☎㉕1118

地震防災講演会
防災教育と地域連携のありかた
～子どもたちと築く地域の防災～

今回の防災講演会では、「学校・保育所など」と、地域住民・消防・自主防災組織などの「地域のあらゆる組織」が連携して防災に取り組むことの重要性について、鳥羽の地域に根差した防災教育を行ってきた、三重大学の川口准教授の経験を踏まえた話を聞くことができます。

一般市民のほか、教職員、保育士、子育て中のかた、防災に取り組んでいるかたなど、どなたでも参加してください。

と　き	8月31日(日)　午後2時～4時
ところ	鳥羽商工会議所3階・かもめホール
入場料	無料
事前申込み	不要

三重大学大学院工学研究科准教授
川口 淳　氏

講師プロフィール

昭和40年(1965年)生まれ。三重大学大学院工学研究科建築学専攻を修了し、現在は、三重大学大学院工学研究科の准教授で、三重大学地域圏防災・減災研究センター社会連携部門長およびみえ防災・減災センター地域・企業支援分野長兼資料収集・啓発分野長も務めています。

専門分野は、建築構造学、建築防災学、地域防災学、耐震設計。

みんなで子育て だっこで ほっと

Vol.31

子育て支援センター
☎㉕7225

「ストレス」最近よく耳にする言葉ですが、大人の世界では、あるのが普通というのが現状かと思います。では、子どもの世界ではどうでしょうか。子どもだってストレスは当然あるでしょう。見逃せない点は、ストレスに押しつぶされている子どもが激増しているという点です。過度なストレスを放っておくと不登校やいじめなどの問題につながりかねないとも言われています。

しかし、ストレスを全て排除すればよいかといえば、そうではないようです。人間は自分の耐えられるストレスより少しだけ高いレベルのストレスを乗り越えることで、より高いストレスに耐える力がつき、強い心が育つということを聞いたことがあります。すなわち、大人が先回りしてストレスゼロにすることは、子どもの成長を考えるうえでよくないということになります。

では、子どものストレスに大人はどう対応すればよいのでしょうか。まずはストレスに気付いてあげることが大切です。あるテレビ番組では、子どものストレスのサインのひとつとして、「ため息が多くなる」「朝寝坊が増える」「好奇心がなくなる」「黙り込む」などがあげられていました。乳幼児期ではサインが違ってくると思いますが、こういったサインに気付き、寄り添ってあげることが大事なのではないでしょうか。子どものサインや、思いは年齢や環境によって随分違いはあると思いますが、子どものサインに気付ける余裕と視点を持って子育てしたいですね。